

言葉・文化は違えども ともに過ごした時間が仲間の証

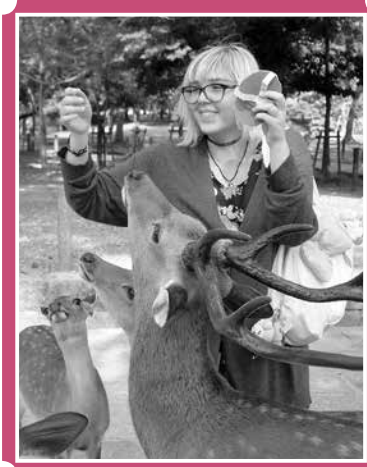
— 姉妹都市高校生ホームステイ事業 —



左から トリー・ウェイルス・デイビスさん、トーマス・ピノさん、ニコラス・ロドリゲスさん、デイビッド・エイバリーさん、シュバム・ダーワルさん、ヴァネッサ・アリバスさん
(8月1日 帰国前に全員で記念撮影)



“日本の夏”を体験
(7月31日 フェアウェルパーティー)



3泊4日で広島・京都・奈良へ
(7月21日 奈良公園)

ホームステイをしながら、学校訪問や観光地、事業所の訪問などを通して日本を肌で感じ、多くの皆さんと交流を深めました。滞在初日は緊張している様子の学生達でしたが、しだいに打ち解け、日本文化や日本語について積極的に学ぼうとする姿がとても印象的でした。**葦崎市**についても、自然豊かできれいな景色に囲まれた、人々が親切な街だという印象を持ったようで、またいつかホストファミリーや友達に会いに**葦崎市**に戻ってきて

葦崎市と姉妹都市であるアメリカカリフォルニア州フェアフィールド市は、昭和63年から学生の相互派遣交流を行っています。本年も7月12日から8月1日の期間、5名の高校生と引率者が本市を訪れ、市内の家庭に



葦崎の桃はジュースト
(7月27日 桃狩りを体験)

たい！という強い気持ちと思いを胸に、アメリカに帰っていきました。
また、本年はフェアフィールド市との姉妹都市締結45周年の記念すべき年です。両市の交流の歴史の長さや友好関係の深さを知るとともに、事業を支援してくださる皆さんにあらためて感謝をする機会となりました。今後、学生達をはじめ、この事業に携わっている日本の学生達にも、日本とアメリカの懸け橋となつて活躍してくれることを期待しています。



座禅で精神統一
(7月26日 願成寺)



茶道の心は、おもてなしの心
(7月15日 韮崎工業高校で茶道体験)



FUJIYAMA の前で記念撮影
(7月28日 富士急ハイランド)

ホームステイを体験した皆さんから、感想をいただきました。(抜粋)

ヴァネッサ・アリバスさん

ホストファミリーや職員の皆さんに、いろいろなところに連れて行ってもらい、大変お世話になりました。ホストファミリーと出かけたことはとても楽しい思い出となりました。

シュバム・ダーワルさん

このプログラムに参加できて、本当に満足しています。学校訪問では、それぞれの学校で特色があるのが面白かったです。ホストファミリーの皆さんが親切で、出会えて本当に良かったです。私にとって第二の家族ができました。

トーマス・ピノさん

私は、この滞在を通して素晴らしい体験をすることができました。いつかまた戻ってきたいと思っています。ぜひ、今後もこのプログラムを続けていってください。

ニコラス・ロドリゲスさん

人々、環境、新しくできた友達、ホストファミリーなど、言うことなしのプログラムでした。韮崎市は、世界で最もきれいな街のひとつだというような印象を受けました。ぜひ



初体験の習字に悪戦苦闘
(7月15日 韮崎西中学校)

ひ、また韮崎に帰ってきたいです。

トリイ・ウェイルス・デイビスさん

とても日本は魅力的で、人々が親切な国だと思いました。私はホストファミリーが大好きになりました。アメリカと比べてときに、文化や歴史の違いがとてもおもしろいと思いました。将来、また戻ってきたいと思います。

デイビット・エイバリーさん

(引率者)

このプログラムは、よく計画されていて、学校訪問や大都市への旅行、市内観光などがうまく組み合わされている日程やホストファミリーなど、とても満足しています。

姉妹都市交流協会の方をはじめ、皆さん本当に素晴らしい人たちでした。

**米国カリフォルニア州
フェアフィールド市へ
行こう!**

姉妹都市
フェアフィールド市との交流を深めるとともに、一般家庭へのホームステイを通じて様々な人と接することに、国際的な感覚を持った人材を育成するため、市内在住の中学・高校生を対象にフェアフィールド市への派遣学生を募集します。



■ホームステイ期間
12月17日(土)～
平成29年1月8日(日)

《23日間※変更の場合あり》

■募集人員
中・高校生6名《予定》

■募集期間
9月1日(木)～15日(木)

※後日、面接試験を行い、派遣者を決定します。

■参加者負担金
15万円程度(過去実績)

※HPでも派遣要項がご覧になれます

■申し込み・問い合わせ

国際交流実行委員会

(企画財政課企画推進担当)

(内線356)